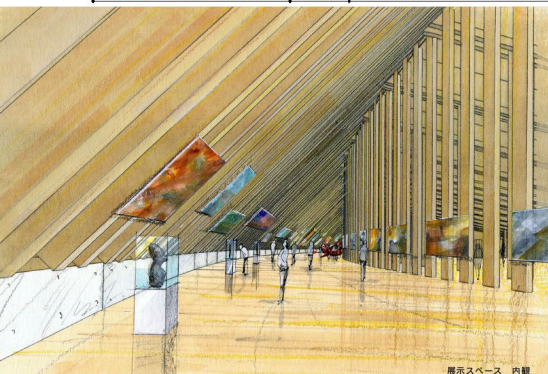


建築延床面積	750.4㎡
ロビースペース	203.9㎡
体験ホール	156.2㎡
大広間スペース	156.0㎡
販売・展示スペース	29.3㎡
情報サービス	20.0㎡
管理・事務・広場	184.8㎡
緑地・緑地増量	943.0㎡
展示スペース	333.5㎡
収容量	321.6名
展示・研究	39.5㎡
図書スペース	163.0㎡
会議的広場	86.0㎡
文化機能	325.8㎡
市民活動・体験工房	325.8㎡
共有スペース	285.5㎡
通りニワ	177.3㎡
管理・事務など	108.2㎡
ホワイエその他	94.1㎡
敷地面積	32,496.46㎡
建築面積	2,326.10㎡(建築率6.7%)
延床面積	2,398.80㎡(容積率7.4%)

構造 木造平家
 外部仕上 屋根 瓦葺き
 壁 杉幹壁、漆喰塗り
 床 板石敷き
 内部仕上 天井 杉幹壁・杉皮目
 内壁 杉幹壁、漆喰塗り
 床 板石敷き
 (ロビー・通りニワ)
 杉幹壁
 (展示・収容・図書)



円弧状に曲げられた軒
ゆるやかにゆるむ柱の列柱は
林立する松の木立を模して、(いる
スペースを長く通りニワは
内外を貫く街道であり
長大なギャラリーでもある。

列柱と「通りニワ」
列柱は45度勾配の断面と
交互に組合わせて連続させてゆく。
整齊な列にも似た木柱の内部には
三角形断面の空間が並ぶ。
列柱が橋子の役目をして
「通りニワ」とを「熊野古道センタープロボザル」